

2017 年秋季募集 MALT 特定研究について

新しい技術やシステムの開発（R&D 的研究）や、特定の研究分野を推進するために設けるプロジェクトで、プロジェクトごとに研究課題を募集します。このカテゴリに申請する研究者には、プロジェクト推進のための積極的な関与（[開発実験への参加](#)、[プロジェクトに参画する研究者あるいは MALT が開催する研究ミーティングへの参加](#)）が求められます。プロジェクトは 1 年ごとに設定されますので、延長申請はありません。1 年ごとのプロジェクト終了時に、成果報告書の提出が求められます。利用分担金は求められません。採択は、そのプロジェクトにふさわしい研究課題かどうかを MALT が判断して決定します。

2017 年度春季募集課題に設定する MALT 特定研究は、以下のものとします：

1. ヨウ素同位体システムに関する研究

ヨウ素 129 を用いて、地球環境中のヨウ素動態を解明する研究を推進します。ヨウ素は有機物との親和性が高いため、巨大炭素リザーバーの形成や進化を調べる鍵となる可能性も秘めています。また、人為起源のヨウ素 129 は、環境中で非定常状態であり、ヨウ素動態を直接調べるために大変有力なツールです。ヨウ素は環境中で化学形を容易に変化させますが、その変遷過程はよく分かっていません。MALT では、化学形分別とヨウ素同位体を組み合わせた観測により、ヨウ素と環境との関わり・変遷を解明したいと考えています。

また、福島第一原子力発電所事故の影響を調べる上でも、まだまだデータを蓄積する必要があります。

ヨウ素 129 に興味はあっても、試料の処理などよく分からない、という学生・研究者に向けて、試料前処理のインストラクションを含むワークショップも開催する予定です。

2. 放射性炭素 14 を利用した研究入門

放射性炭素 14 (^{14}C) を利用した年代測定は、考古学、地球科学など様々な分野で利用されていますが、実際にはどのような処理・測定・解析を経て年代値が得られるのかについては意外と知られていないと思います。また、 ^{14}C を利用してみたいけれど、やや敷居が高くて躊躇されている研究者の方も多いかと思います。MALT では、より多くの研究者に ^{14}C を利用していただけるように、今回、 ^{14}C 活用入門として、 ^{14}C を利用した研究を「特定研究」と致します。採択された場合、利用分担金は求められません。また採択された課題の共同研究者は、MALT の化学処理施設を利用して ^{14}C -AMS の前処理のインストラクションを受ける事ができます。奮ってご応募下さい。